

8月7日(金)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



マエストロ・齊藤一郎さん
ピアニスト・加藤大樹さん

8/6 昭和音楽大学

お客様の声から♪

洗練された、さすがの演奏でした。ピアノ演奏は特に良かったです。(75歳・主婦・葉陰山) / どの曲も華やかでとてもステキでした。特に、「展示会の絵」がお気に入りです。(17歳・高校生・日比野真子) / おなかの赤ちゃんも、音に反応して動いていました。良い胎教になりました。演奏を聴いて元気が出たので、暑い夏を乗りきれそうです。(33歳・主婦・なよ) / 以前、川崎日航ホテルに泊まった時はまだミュージックが修繕中で入れませんでした。今日たまたまホテルのHPからリンク先を見ると、イベントをやっている日でしたが、無理して夜までいました。オーケストラとの一体感と気軽にきけるお値段、千葉からは遠いですが、また来たいです。(オカピー)

8月6日(木) 昭和音楽大学 撮影：青柳聡

新百合ヶ丘駅に程近く、キャンパス内に評判のイタリアンレストランを持つ、明るく開かれた雰囲気の昭和音楽大学。そのオーケストラがフェスタサマーミュージックにオール・ロシア・プログラムで臨んだ一夜。まずはムソルグスキー『禿山の一夜』。原典版の難しい響きながら、齊藤一郎のスケール大きく見通しの良い指揮が奏者の緊張を解放していく。続くラフマニノフ『ピアノ協奏曲第2番』。ソリストを務めた加藤大樹は、混濁の無い美しい音色が魅力。弾き進むにつれ音楽のスケール感も増していく。

オーケストラは高い集中力で、伴奏にとどまらない情感あふれる世界を創り出していた。休憩後は『展示会の絵』。指揮者の要求に奏者が自らを開放し応えた素晴らしい演奏。各セクションのソロも見事。出色だったトランペット奏者はもとより、オーケストラ全員に聴衆から惜しめない拍手が贈られていた。

昭和音楽大学オーケストラは、今回はオール・ロシア・プログラムながら、明るい音色が持ち味で、管楽奏者はもとより、弦楽奏者にまで柔軟な息遣いが感じられるオーケストラとい

う印象を持った。プロオーケストラごとに個性があるように、大学のオーケストラからもこのような個性を感じる事が出来たのは大収穫。日々のオーケストラ実習の指導者がこのような個性を作り上げているのだと思うと、秋の『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』にも更に期待が高まるというものだ。

プロ・オケだけでなく、集中力高くひたむきに音楽に向かう若い世代の演奏を、ミュージックで是非多くの人に楽しんでもらいたい。

音楽事務所マネージャー N.I

19歳の気鋭レビュアー拓やん、サマーミュージックを往く!

コラム

毎日どこかでコンサート? ~首都圏のクラシック音楽事情



平岡拓也・大学生(19)

サマーミュージック期間に次々と集結する首都圏のオーケストラを聴いて、「こんなにたくさんの楽団があるんだ!」と思われた方もいらっしゃるかもしれません。実は、東京をはじめとする首都圏は世界有数の音楽都市なのです。ウィーン、パリ、ニューヨークなどでは、連日どこかでコンサートが行われる盛況ぶりですが、それは首都圏も同じこと。むしろ、一都市あたり

のオーケストラの数では首都圏が上回っているほどです。近年飛躍的に成長を続ける首都圏のオーケストラ。ここミュージックを拠点とする東京交響楽団をはじめ、どの演奏会も充実したプログラム揃いで見逃せません。体がいくつあっても足りない!と嘆く方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

新企画「アーティスト in ミューザ」

この秋、ピアノの名匠エマニュエル・アックスが登場!



エマニュエル・アックス

この秋に始動する新企画「アーティスト in ミューザ」。世界的に著名な音楽家をミューザに招いて、リサイタル出演や、オーケストラと共演をしていただくほか、公開マスタークラスを開催するなど、その音楽家の音楽性と人となりにより焦点をあてる企画です。

第1回目は、アメリカを代表するピアノの名匠エマニュエル・アックスが登場します。2013年にマリス・ヤンソンス率いるロイヤル・コンセルトヘボウ管と共演した際、ミューザの響きとピアノのコンディションに感激したアックス。ご縁あって今回の出演をご快諾

いただきました。

アックスは、1974年に第1回アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール(テルアビブ)に優勝して一躍注目を集めて以来、世界各地の名門オーケストラと共演し、主要なコンサートホールや音楽祭に出演しています。アイザック・スターンやヨーヨー・マ、イツァーク・パールマンら名だたる音楽家たちとも度々共演。協奏曲・独奏曲・室内楽のいずれも、卓越した技術と豊かな感性で聴衆を魅了し続けています。

11月17日に開催されるリサイタルでは、アック

スの得意とするベートーヴェンとショパンの傑作を。11月23日「名曲全集」では、東京交響楽団をバックに、彼お気に入りの作曲家R. シュトラウス作曲『ブルレスケ』~ピアノとオーケストラのための』をお届けします。アックスはこの曲で、過去にベルリン・フィルと2度共演しています。(2001年ベルナルト・ハイティンク指揮、2014年アンドリス・ネルソンス指揮)日本では聴く機会の少ない「ブルレスケ」を東京交響楽団音楽監督ジョナサン・ノットとの名コンビでお楽しみください!

(事業課 ぷ)



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

金沢カレー
ゴーゴーカレー

川崎モアーズ 8F
総合プログラムP.94
パートナーショップガイドP.6



えびフライカレー(特典のトッピングはゆでたまごをセレクト)

金沢市を中心に食べられていて、スパイスの効いた濃厚なルーの上にカツをのせて付け合わせにキャベツ、ステンレスの皿でフォークで食べるのが金沢カレー。暑さで体調を崩しがちな

夏、スパイスとスパイスのかけ合わせで、絶妙な香りや深い味わいが生まれるそうです。スパイスの多くは漢方では薬として扱われていて、カレーはご飯に漢方薬をふりかけて食べることで、まさ

に、体調管理にうってつけの食べ物。カレーのスパイスで体を目覚めさせて、心も体も元気一杯に。(M)

サマ-ミュージカ特典
1つトッピングサービス(200円まで)

NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ 文・オヤマダアツシ

8月8日(土) 15:00 開演
出張!サマ-ミュージカ@しんゆり
東京交響楽団
【会場:昭和音楽大学テアトロ・ジリオ・ショウワ】
指揮:梅田俊明

【二大交響曲 オークストラの醍醐味】
モーツァルト:交響曲第41番
「ジュピター」
ドヴォルザーク:交響曲第9番
「新世界より」



梅田俊明

ききどころ

オーケストラ・コンサートの主役である交響曲は、さしずめ威厳に満ちたキングのような存在。ゆえにクラシック入門や、家族や友人を安心して誘える曲として、強力プッシュしたい定番アイテムなのだ(夏休みのデートにもね)。ローマ神話の絶対神ジュピターの名前が付けられたモーツァルトの交響曲、そして「新世界」アメリカのニューヨークで生まれたドヴォルザークの交響曲。もちろん「何度聴いても感動する」のは名曲の条件ゆえ、「知っている曲だからこそ、また聴きたいな」という方にもお薦めだ。

S:4,000円 A:3,000円 B:2,000円
学生券(25歳以下)各席半額

会場はミュージカではありません。
お間違いのないよう、お願いいたします。

友の会キャンペーン実施中

サマ-ミュージカ期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマ-ミュージカオリジナルチケットホルダーをプレゼント! (~8月9日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で
ミュージカ川崎駐車場
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

ホール内
ショップで発売中
●サマ-ミュージカ
チケットホルダー
640円(税込)
チケットだけでなくA4チラシ
三つ折も入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマ-ミュージカ
Hobo Nikkan Summer Muza



フェスタ期間中のミュージカスタッフは、黄色やオレンジの鮮やかな色のお洋服を着ていますが、ホールレセプションは落ち着いた青色です。
ホール内で待機するスタッフがお客様のご鑑賞の妨げにならないよう、目立ちにくい青いポロシャツをご用意しています。
フェスタ期間以外では、白いボウタイ付きのブラウスに膝下丈のタイストライツというエレガント(?)な制服でレセプション(?)一同お客様をお待ちしております。今後も様々なコンサートが目白押しですので、秋以降も是非ミュージカへお越しください!

レセプションマネージャー
てらした

スタッフ日記